

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年 4月 21日公開
フェイクニュース他、世界情勢について

こちら、自宅の新しいオフィスからお届けします。ずっとライブをしたかったのですが、アメリカに行っていたため、出来ませんでした。先日アメリカ西海岸から戻って来たばかりです。しかしながら、今回はいくつかの件についてアップデートしようと思っていますので、長くなると思います。

《偽ニュースについて》

まずはじめに、「偽ニュース」(fake news)について。それも残念なことに、クリスチャンたちがそれを鵜呑みにしているのです。それから中東について。現在起こっていること、2つのおもな「層」についてお伝えします。第一の層は、イスラエル周辺の国々。そして第二の層は、イスラエルと国境を共にしていない国々です。そこで何が起こっているのかをお話しします。ロシアとの関係、アメリカとの関係、そして、少し前の中東とどう違うのか。

まずはお祈りから始めたいと思います。このアップデートが、ただの面白いブロードキャストに成り下がらず、神に栄光を帰すためのものになるように。

お祈りします。

お父様、私たちは心から感謝します。あなたは真実であられ、あなたのみことばを御名よりも高くされました。今日、私達が世界や中東の情勢を見ていくにあたって、最も重要な事、私達が持っている祝福された望みから、私達が目を離すことのないようにと祈ります。イエス様がすぐに迎えに来られ、あなたのみもとに私達を迎えてくださいます。あなたのおられる所に、私達もいるためです。今夜、ガリラヤより、あなたに感謝を捧げます。このお祈りを、他にはない、最も美しい御名イエシュア、イエスの御名によってお捧げします。

アーメン。

さて、先ほども言いましたが、今回はいくつかの事についてお伝えしようかと思っています。まず初めに、あまりにも多くの「偽ニュース」が溢れ返っている問題について。残念ながら、多くのクリスチャンたちに利用されていて、さらに残念なことに、私自身が何人かの人をブロックしなければなりません。彼らは、とんでもない情報をしつこく利用しようとし、それだけではなく、他の人までも混乱させているからです。私は時々、「彼らはクレムリンからお金をもらっているんじゃないか？」と疑ってしまいます。それほどに親ロシア、反アメリカ、反イスラエルのプロパガンダがはなはだしく、前代未聞です。悪の枢軸、つまりロシア、イラン、トルコ、ヒズボラ等に反対するもの全てに対する、彼らの敵対の仕方は実に異常です。ここで私は明確にしておきますが、我々の国境の向こう側で起こっていることに関して、大半のコンピュータ画面の前に座っている世界中の人たちよりも、我々イスラエルの方がよく分かっていると、私は強く思います。といっても、私は自慢しているわけでもなく、誰かを見下しているわけでもあ

りません。ただ我々は70年もの間、ずっとこれに対応してきたのだと言っているのです。

我々はずっとシリアと戦っています。我々とシリアの間に平和はありません。我々はシリアの一挙手一投足、また行動しようとする思考の一つひとつを監視しています。我々イスラエルは、シリアの誰がどこに住んでいて、どの飛行機か、どの空軍基地のどの飛行中隊に属しているのか、彼らが核となる武装大隊であることも明確に把握しています。我々は、敵を知るための特別コースで、自国の兵士たちにこれを教えているのです。それが突然、どこからともなく、コンピューターの前に座っている西側諸国の人間たちが「自分の方がよく知っている」と考えるようになりました。我々は「アサドは化学兵器に関して、全世界を誤って導いている」とずっと言い続けてきました。そして、「全ての協定は、ただ事実を隠すためのものに過ぎず、彼らはまだ数トンもの化学兵器を所持している」とも言い続けてきました。我々はそれを事実として知っていますし、亡命してきたアサド政権側の元兵士が、それを複数回証明しているのです。我々はそれがどこにあるのか、どういった種類のガスを使っているのか、またそれは、二週間前にイドリブ郊外で使用された物であることも、はっきりと掴んでいます。ですから、どうしてそれを疑う人がいるのか、私には理解できません。どうしてそんなに大騒ぎをするのか、理解に苦しみます。アサドはこれまでにも何度もやっているのに。ちなみに、私が「アサド」と言うときは、彼が個人的に飛行機に乗って動いているという意味ではありません。アサドは高官たちに囲まれていて、彼にどうすべきかを告げているのです。これら高官たちが「あの攻撃」を命じ、「あの攻撃」を知っています。アサド個人が知っているかどうかは簡単にわかるでしょう。なぜなら、高官たちが支配し、彼らが政権なのですから。アサド本人は知っていたかもしれないし、知らなかったかもしれない。ともかく、化学兵器で攻撃したのはシリア政権です。これは疑う余地もありません。我々は、誰がやったのかも知っていますし、どのように行ったのかも知っています。もし、あなたが「偽ニュース」のサイトや、物凄く怪しい預言教師や、「Info War. com」やウェブサイトやテレビ番組などから情報を得て、「自分の方がよく知ってるぞ」と思うなら、彼らは物凄くズレたことを大変センセーショナルに伝えます。彼らは「大陰謀論」にすっぴりのめり込んでいるからです。もし、あなたがそれを鵜呑みにしたいのなら、私はそれでもかまいません。ただ、覚えておいてください。もしあなたがそれを信じたのなら、いつかあなたは神の御前で申し開きをするのです。あなたがなぜそれを信じたか、だけではなく、何故多くの人を混乱させたのか。はっきり言っておきます。こう言った偽ニュースに関して、私はフェイスブックにも書いたのです。いくつかの、非常に議論を生んでいる、非常に信頼性に欠ける情報源について、具体的に名を挙げました。他にもまだまだあるのですが、残念ながらブロガーや何かが人々にこういったナンセンスをインターネットで次から次へと垂れ流し続けているのです。私が数時間前に投稿したところ、ある人からメールが来て、「『トランプがロシアを捨てて、今はトルコのジハーディストを支援している』とブロガーが言っている」というのです。こんなのデタラメですよ。トランプは、ロシアとは親密ではありませんよ。ところで、アメリカはトルコ国内に巨大な空軍基地を持っています。彼と親密なのではなく、彼と共に住んでいますよ。国民投票でエルドアン大統領をスルタン（イスラム君主）にしたのはトルコの人々です。それならアメリカはどうするのか？つまり、自分達の兵士が既にいるなら、それを受け入れるしか恐らく道はないでしょう。トルコ南部に位置するインジルリク空軍基地には、核弾頭があると言っておきます。そもそもトランプがロシアとトルコのどちらかを選ばなければならないとか、そんなことを考える事自体ナンセンスです。

ここで明確にしておく、アメリカが今現在戦っている敵は一つ、ISIS です。イスラエルが今現在監視している敵は ISIS です。その理由は、イスラエルはイラクやシリア国内に ISIS を見ているのではありません。イスラエルはゴラン高原やシナイ半島の国境にいる ISIS を監視しているのです。ついこの間も、ISIS は市内の中心部にある聖カタリナ修道院を攻撃しました。ISIS は棕櫚の主日にコプト教徒エジプト人を攻撃しました。ISIS がいるのは、シリアとイラクだけではないのです。我々は、ISIS が我々の周辺どこからやって来ても攻撃できるように、備えていなければならないのです。イスラエルはヒズボラにも目を見張っていなければなりません。そのために、昨日まさに国連大使ニッキー・ヘイリーがこう述べたのです。

「国連安保理は一日中イスラエルについて話していないで、イランとヒズボラについて話し合うべきです。彼らこそ、継続的に中東を不安定にしている 2 大要素ですから！」

そういうわけで、アメリカとイスラエルは同じ位置に立っています。ジョン・マティス米国防総省長官が、今現在イスラエル滞在中で、イスラエル首相、大統領、防衛大臣と会談、ISIS と戦うことについて、同じ視点でいられるようにと協議しています。実際のところ現在、イスラエル歩兵部隊とアメリカ海軍特殊部隊との合同演習がイスラエルで行われています。両空軍の合同演習も行われました。これからも行われます。イスラエルは明後日（4月23日）、さらに3機のF-35を受け取ります。すでにある2機に加えて、我々は全部で5機を所有します。両国間には、以前には見られなかった素晴らしい協力関係があるのです。ここには陰謀はありません。全うな男たちが全うに戦っているのです。その背後に陰謀を探しても無駄な事です。

ということで、皆さんに保証します。イスラエルは、自分達の国の周りの中東状況を、アレックス・ジョーンズや、Israeli News Live や、そこら辺の聖書預言陰謀論教師や何かより、ずっとよく把握しています。我々はよくわかっているのです。アメリカ軍は今現在シリアに進軍はしていませんし、シリアで戦争を始めようともしていません。これはデタラメです。根拠もありませんし、全くの陰謀論です。信じがたいかもしれませんが、私は、彼らの多くはクレムリンに操作されていると、強く思います、だからここから始める必要があったのです。多くの混乱があります。クリスチャンは何を取り入れるのか、誰の話聞き入れるのか、慎重に吟味して、選ばなければなりません。正直に言えば、聖書に書いてあること——我々がすでに知っている全ての事に関して、私達の周りを取り囲む人々は誰も、我々に影響を与えることが出来ません。もし、私が「エゼキエル 36, 37 章が既に成就されていて、38, 39 章がもうすぐ成就する」と教えるなら、10 年前に教えても、今教えても、同様の確信をもって教えることが出来るのです。エゼキエルの預言が、10 年前より今の方が正確であるなどとは、私は思いません。エゼキエルが執筆した当時から神は、現在と同様に正確だったのです。

今現在起こっていることを見て、聖書をもっと信頼するなどという事は、私にはありません。私の中で増大しているものがあるとすれば、唯一ワクワク感だけでしょう。私は以前よりも今の方がずっとワクワクしています。なぜなら、「それらのことが起こる」と知ってからこれまで、ずっと話してきたことが、まさに起こり始めているのですから。

私達は「城壁の見張り番」と呼ばれますが、「平凡なクリスチャン」などというものは存在しないと思っ

ています。私達の誰もが、暗闇から神の驚くべき光の中へと導き出されました。私達の誰もが、王国の祭司、祭司の御国とされたのです。つまり、そこでは私たちに権威があります。私達には指導者としての立場が与えられているのです。私達は、偽ニュースや偽リーダーに導かれるものではありません。私達に与えられた知識や理解をもって、私達が導くのです。世は、それを持っていないからです。ですから、人々がクリスチャンではない情報源や、「おかしな」クリスチャンの情報を取り入れ、そこで知識を得ているのが、私はとても気になるのです。見張り番とは、他の誰よりも高い所に立つ者のことです。それは、他の人には見えない物事を見るためなのです。誰もが、「戦争や戦争のうわさ」について話しています。誰もが、核爆弾の危険性や、熱核反応、核弾頭について話しています。しかし我々にはこれから何が起こるのかははっきり分かっています。その裏には、誰がいるのか、役者の名前も正確に分かっています。それは、私達が御言葉を見ているからです。だから、私達には責任があるのです。ただ見る、見えているというだけではなく、正確な情報で人々に警告を与えるのです。目に見える事だけではなく、我々が既に知っていることを基にして、です。想像できますか？諜報機関が「いくつかの国が攻めて来るぞ」と言い、あなたが見に行ってみると、それらが攻めて来るのが見える。これこそが、見張り番の役目です。

「あなたにずっと言ってきたことが迫って来ている！注意せよ！」と。

神が「こうする」と言われたことや、「これから起こる事を認める」と言われたことに関して、我々が神を「助ける」必要はないのです。

聖書の中で、初めに神の約束を成就させるのを「助けた」人を思い出します。

アブラハムです。

アブラハムは、自分が歳を取り過ぎていて、サラも歳を取っているし、それが上手くいくとは思えないと考えました。サラもまた、「ハガルにお入りなさい」と言い、そしてイシュマエルが生まれたのです。今日の今日まで、皆さんご承知の通り、不信仰と、神を助けようとした結果、世界は苦しんでいるのです。それは上手くいかなかったのです。

「これらのことが起こる」と神が言われたのなら、私達はこれらの事が起こるままに任せなければなりません。起こらないことを付け加える必要はないのです。我々は「アメリカが中東に攻め込んでいる」とか何とかいう必要はないのです。それは不必要な事です。もしアメリカがトルコからシリアに向けて、兵士や戦車の隊列を成していたら、真っ先にイスラエルが気付くとは思いませんか？全世界が気付くとは思いませんか？今や、21世紀ですよ！どうして聖書教師がカメラの前で「アメリカ軍が隊列を成してトルコからシリアに入っている」などと言っているのでしょうか？全く根拠がありません！「アメリカ兵がシリアに向かっています」なんて、誰も報道していません！地元の人が「アメリカ兵なんて一人もいないよ」と言っているのに。皆さんに理解しておいてほしいのは、聖書が何も言っていないことには、私たちも黙っているべきですし、聖書が明確にしていることは、我々も明確にするべきです。そして起こっていることに関して、私達は何を見、誰を見るのか、慎重になるべきです。

《ロシア、シリア、イラン、スーダン、トルコ、リビアについて》

さて、世界で実際に何が起きているのか、聖書預言アップデートをお伝えします。

まずロシアから。ロシアをよく知る人なら分かるはずですが、彼らは周囲を混乱させるために、ありとあ

らゆる手を使うのです。私が強く思っていることは、ロシアにはアメリカと戦争をする準備は出来ていません。ただ、そのように見せかけているだけです。ロシアの経済、軍隊、それから中東での立場、どれ一つをとっても、現在世界大戦を始められるような状態ではありません。今、「第三次世界大戦」だという言葉を使うのは、とても簡単ですが、アメリカもロシアも、双方そのつもりはないと思います。アメリカは北朝鮮に対して、指導者の立場を示さなければならないのです。過去8年間、前政権はいっさいそれをしませんでしたから。それからアメリカは、シリアの政権が、自国民に自由に化学兵器を使用することに対しても、指導者的立場をとらなければなりません。これも過去8年間、誰も行ってこなかったからです。そして、そのメッセージは明確に伝わり、理解されたと思います。ロシアは今現在、軍隊をあっちこっちに移動させて、誇示しているように見えますが、はっきり言うておきます。重要なのは北朝鮮でもロシアでも、アメリカでもありません。重要なのは中東。それもシリアです。そして、シリアで溢れかえる対立を、利益のために利用していることです。スンニ派対シーア派、ジハーディスト対穏健派、クルド人対トルコ人、反政府勢力対シリア政権、少数派对多数派、サウジ対イラン、ヒズボラ対イスラエル——実に多くの対立が、一つの領域に集結していて、実に多くのテロリストにとっての活動の場となっているのです。そしてそれがイザヤ書 17:1 の成就になり得るのです。ダマスカスが間もなく破滅すると、私はもう何年も言い続けていますが、これは私の中では、全く疑う余地もありません。私はこれをこれまで何年も言い続けてきましたし、これからも数か月か数年か、私達がここを出るときまで言い続けますよ。ともかく、重要なのは北朝鮮ではないと言っておきます。北朝鮮は、私からすれば「戦争のうわさ」であって、軍隊を拡散して、中東でのアメリカを手薄にしているだけです。アメリカは、中東には準備が出来ていません。アメリカは、アジア方面でもっと備えが出来ているのです。だから、覚えておいてください。ロシアは現在、リトアニアに軍隊を送り、北朝鮮に最も近い港、ウラジオストクに軍隊を送っています。ロシアは誇示するために必要な事を行っているのです。ただ、ロシアが見定めている最も重要な物は、地中海の石油とガスです。それと、リビアであれ、シリアであれ、後にはイスラエルであれ、彼らはそれを狙っているのです。皆さん、今は OPEC (太平洋地域経済協力機構) とロシアが、原油価格を上げるため、販売される石油の生産量を一日に 180 万バレルに減量することに同意して以来、価格は少しだけ上がりましたが、今ではまた \$50、さらに安く下がりました。上手く行っていないのです。ロシアの経済は、ガスと石油に依存しています。サウジやその他の周辺諸国と同様です。だから、ロシアは必死で指導者的立場を示そうとし、自分たちが中東の長であると思せかけているのです。しかし、これらのガスや石油を、いずれ誰が奪いにやって来るのか、混乱してはいけません。

ですから、私達は覚えておかねばなりません。ロシアは現在、他の何よりも心理戦を戦っているのだという事を。そして、ニュースを伝えているウェブサイトを私も見ましたが、そのうちのいくつかは、クレムリンから資金提供を受けていると想像がつかます。彼らは見事なまでに反トランプ主義で、見事に陰謀論にのめり込み、ロシアが唯一真実を語っているのだという考えに、見事に傾倒しているのです。

皆さん。皆さんはロシアがどんなふう動くのか分かっていません。皆さんは KGB (旧ソ連国家保安委員会) がどういうものなのか分かっていません。ウクライナの人たちに聞いてみてください。ロシアがどれほど欺きに長けているか、彼らのはっきりと教えてくれますよ。マレーシア航空機の旅客機を見てください。飛行機が丸ごとロシアのロケットに撃墜されたのです。もし、世界の他の国がそんなことをしたら、世の中は怒り狂うでしょう。しかし、ロシアはそれをしたのです。ロシアがロケットを提供したら、誰もそれについて語らない。なぜかと言えば、彼らは全てを急回転させて、既に忘れ去られたものとして

しまいましたから。皆さん、どうか理解してください。このとてつもなく大きなプロパガンダが、特にインターネット上で、ロシア側から発生しているのです。これは彼らの得意技で、アメリカ大統領選でも、それは発揮されたのです。と言っても、ロシアのおかげでトランプが大統領になったとは、私は信じていません。それでも、トランプが大統領になるように、ロシアは最善を尽くし、恐らく、今はそのことを後悔しているでしょう。ということで、ロシアについて、明確にしておきました。

さてシリアですが。ほんの 1 時間ほど前、ゴラン高原北部イスラエル側に、迫撃砲が 3 つ落ちてきました。これはイスラエルに向けて発射されたロケットではなく、反政府勢力と政府軍の間で発砲されたものが国境を越えて、こちらに飛んできたものです。それはともかくとして、イスラエルの国境は静かで、イスラエルはあちらの状況に目を見張っています。そこには、反政府勢力もあり、ISIS もいて、ロシア、それからもちろんシリア空軍もいます。忘れてはいけないのが、ほんの 1 か月前、シリアが発射した対空ミサイルの一部がイスラエルに落下してきました。私が思うのは、シリアはそこにいるロシアの後ろ盾を感じたためにこのようなことをしたわけで、自分たちが何をしてもロシアは後ろ盾になってくれると彼らは考えているのです。けれども、化学兵器攻撃の後、トランプがシャイラット空軍基地に 59 発の巡航ミサイルを送って以来、シリアは反政府勢力に化学兵器を使用するのと同様に、我々に関わる事に対しても、少し恐れを抱くようになったのだと思います。これが今回の全貌です。

イランでは大統領選が行われ、アフマディネジャドが再び返り咲きを狙いましたが、不適格と見なされ、彼は出馬できない、という発表が今日ありました。それでも、イランはシーア派の拡散とヒズボラを武装すること、ヒズボラの手には高性能な武器を渡すのと同時に、北朝鮮にも武器を持ち込むことを継続して行く意思を持っており、イスラエルはこれからも目を光らせ、レバノンに運ばれる道中のシリア入りするこういった武器を破壊することで、自国防衛の権利を維持していきます。

スーダンやリビアのような国について、あまり誰も語りませんが、私達のところには「ロシアがスーダンに深く介入している」という情報が、どんどん、どんどん届いています。ロシアはスーダンとの武器売買を決行し、古いロシアの戦車 T-72 や、それから多数の砲弾、物資を提供しています。ロシアにとっては、資金を得るのに都合がよく、スーダンにとっては、誇示するのに都合が良いわけです。そして、これはイスラエルにとってはレッドフラッグです。なぜなら、スーダンは、イスラエルの存在権を否定し、またそれを口にしてしているのです。イスラエルは過去 8 年間でスーダンの中心部を 4 回以上攻撃し、イランから運ばれる武器と、また、首都ハルツームにあるロケット工場も破壊しています。念頭に置いておいてください。イスラエルからスーダンの首都まで、飛行機で行くと 1,500 マイル (2,414 km)。イランの核兵器工場までの飛行距離と全く同じです。ですから、イランに対しても、我々は、我々の存在を脅かす者に対しては、それだけの距離を射程出来るという、明確なメッセージになっていると思います。という事で、スーダンはどうにかしてイスラエルを口説き落として、利益を得ようとしているのです。

トルコはどうでしょう？ 皆さん、ほんの 5, 6 日前の 4 月 16 日、国民投票が行われ、トルコ人の 51.6% が——恐らく高官たちによって調節されていると言われていますが——ともかく、エルドアンに「スルタン」(イスラム君主)の権威を与えることに賛成票を投じたのです。基本的に、彼はあと 16 年支配する

ことが出来、最高裁判事を任命することが出来、誰でも自分の好きな者を国会議員に任命することが出来ます。基本的に国会はその権威を失い、もはやトルコを民主主義国家と呼ぶことは出来なくなりました。私にはそうなることが分かっていたのか？もちろん、何年か前に遡れば、分かりますよ。私はもう何年も、トルコの実態について伝えてきましたから。当時、彼は首相だったのが、大統領になって、今やスルタンとなりました。権力の拡大です。彼がイスラエルを敵とみなす限り——現在は、彼自身の利益にとって、イスラエルは特に問題ありませんが、時が来て、ロシアの方がイスラエルよりも利益があると感じれば、イスラエルからギリシャ、はるばるイタリアまで引かれる新しいガスパイプラインを考えれば、——その時はまもなく訪れると、私は思っていますが——このために、ヨーロッパのロシアへの依存が減少するのです。これによって、ロシア、トルコの協力関係が燃え上がるのだと、私は思っています。ある人は、選挙で選ばれた新しいトルコの大統領にトランプが挨拶をしたことで、「トランプはジハーディストを支援している」と非難しますが、現在、トルコと親密なのはロシアですよ。そここのところは、理解しておいてください。

リビアについて。リビアの石油、ガス生産地域は、反政府勢力によって占拠されています。ロシア兵士が、エジプトとリビアの国境で目撃されています。そして彼らは、リビアでその地域をどうにか解放し、政府に返還するようにと指導し、活動しているのです。そうすれば、彼らが完全に支配できるからです。よく注意して見てください。ロシアと同じグループに入っている国々、つまりトルコ、イラン、リビア、それからスーダン——これらはエゼキエル 38 章で、イスラエルに攻め込むロシュに加わる国々です。

《アメリカ、レバノン、エジプト、ヨルダン、サウジアラビア、フランス》

アメリカは、現在、国防長官がイスラエルを訪問しています。ご存知の通り、アメリカは世界のいくつもの場所で、指導者的立場を示そうとしていますが、残念ながら、世界最先端、最大国としてのアメリカは、8 年間で軍事を使い果たしたため、アメリカが断固とした対応が出来るようになるまでに回復するには、まだ 2~3 年はかかるでしょう。皆さんが理解しておくべきは、現在のアメリカの弱点は海軍です。恐らく 1945 年以降で一番悪い状態です。私からお伝えしたいのは、「聖書の中で、アメリカはどのような立場にありますか？」という質問をよく受けますが、今はその話は脇に置いておきます。ただ、エゼキエル書を見る限りでは、アメリカは実質的にも軍事的にもイスラエルを助けません。何故でしょう？それについては、アメリカが完全に他のところに散らされてしまうのか、もしくは、アメリカが国内の問題を抱えて、他を助ける余裕がなくなるのか、私には分かりません。私はプロフェット（預言者）ではありませんから。私はノン・プロフェット・オーガニゼーション（NPO: 非営利団体）の人間ですから（笑）私に言えることは、聖書には、誰がイスラエルを攻め込むのか、また、誰がイスラエルには攻め込まず、ただイスラエルに攻め込んだ者を非難するのが明確に記されているという事だけです。

アメリカの次は、第一の層となる国についてです。

次にこれを見てください。これまでも何度か言っていますが、もう一度言います。イスラエルはレバノン、シリア、ヨルダン、エジプトと国境を共にしています。これら全ての国は複数回イスラエルと戦っています。これら全ての国が複数回敗戦しています。これら全ての国が、現在、イスラエルと戦うことが出来ないか、あるいはイスラエルと和平を結んだため、戦う気がないかのどちらかです。ヨルダンとエジプ

トは、イスラエルと和平を結んでいて、もはや敵ではありません。シリアは国内で内戦が起きているのです。

そして、レバノンもまた、内戦を抱えているのです。昨日ヒズボラは、報道陣をイスラエルとの国境に案内し、そこで記者会見を開きました。

「イスラエルを見てください。彼らは防衛し、我々の攻撃に備えています。攻撃ではなく、防衛です。」そう言って、ヒズボラはまるで自分が政府であるかのように案内したのです。そして、今日は何が起こったのでしょうか？サアド・ハリリー首相（レバノン首相）がヘリコプターに搭乗し、はるばるイスラエルとレバノンの国境、地中海岸北部のナクーラまで来て、UNIFIL（国際連合レバノン暫定駐留軍）を訪問し、次のように述べました。

「ヒズボラは地主ではない。我々が地主だ」

「ヒズボラはただ、イスラエルと戦いの火花を散らそうとしているが、我々はイスラエルと戦争するつもりはない」

「我々の関心は、国連決議 1701 を守るだけです。それからリタニ川南部には、一切の武器を所有していません。」

皆さん、ヒズボラが記者会見を開いた翌日に、レバノンの首相と防衛長官と軍司令官が出て来て、「ヒズボラのいう事を聞くな。」と言うのは前代未聞です！皆さん、これはアメリカがレバノンに

「皆さん、もしヒズボラが皆さんの軍隊の一部なら、我々は一切手助けできませんよ。ヒズボラはテロ組織だ。我々はテロ組織に武器や資金援助は出来ない。もし、あなたがたが我々の援助を受けたいのなら、あなたがたはヒズボラから離れなければならない」

と言ったからです。そのため、今日、イスラエル—レバノン国境でこんなことが起こったのです。レバノンは、ヒズボラやロシア、イランよりも、むしろアメリカ、イスラエルの側についていると言っても良いでしょう。

エジプトはどうでしょうか？残念ながら、現在エジプトは、二つの大きな領地が ISIS のテロ攻撃下にあります。イスラム教徒たちはずっと以前、アッ=シーシーが政権を乗っ取った時点で、エジプトの敗北に気づきました。しかし今は、ISIS がエジプトに侵入しています。彼らは、エジプトでは少数派であるコプト教クリスチャンが 1,000 万人居住している所を攻撃しています。棕櫚の主日（2017 年 4 月 9 日）、ISIS はその地域のいくつもの教会を爆破し、その場で 50 人以上を殺害しました。シナイ半島のエル=アリーシュという町で、クリスチャンが殺害されたと聞きました。また、我々は毎日、ISIS がエジプト軍を攻撃しているのを目撃しています。エジプトの軍隊は巨大ですが、とても大きくて古い軍集団で、戦車や戦闘機、ヘリコプターが主力です。そのため、ジハード派テロリストとのゲリラ戦には、まだ対応できていないのです。そして今、彼らは兵士の特殊部隊にエル=アリーシュやシナイ半島の他の町の家々を送り込み、文字通り ISIS に協力している疑いのある者は誰でも、全員処刑しています。しかし、これもまた全く上手くいっていないのです。エジプトは、シナイ半島とカイロの内側が包囲攻撃下にあるのを、我々は見ています。ですから、エジプト人は今、とても弱い立場にあります。彼らはアメリカとイスラエルの助けを必要としているのです。そして我々は、シナイとイスラエルの国境を、あらゆる侵略から守るために、出来る限りの事をしています。

ヨルダンについて。信じがたいかもしれませんが、イスラエルの国境で最も静かなのはヨルダン側です。でも、驚くには値しません。ヨルダンは、1970年にイスラエルがヨルダン国王を、シリアと内部の PLO（パレスチナ解放機構）の攻撃から救って以来、長年の味方であるだけでなく、1973年には、ヨルダンのフセイン国王が、ゴルダ・メリア首相に「もうすぐシリアとエジプトが攻撃してくる」と伝えたことがあります。それ以来、水面下ではあっても、ヨルダンはイスラエルの味方です。聖書にも、終わりの時、ヨルダンにはとても特殊な役割が与えられています。我々も知っている通り、イスラエルは反キリストの迫害の中心となります。その時に、ヨルダンが門戸を開き、ユダヤ人を反キリストの角から逃れさせるのです。ヨルダンは今も、そしてこれからも、イスラエルの周辺で最も静かで最も親しい近隣国です。

サウジアラビアについて。とても興味深いです。よく注目しておいてください。私はサウジアラビアを、イランやシリア、トルコと同列には語りません。実際、サウジは今や穏健派の側です。サウジは今、訳あって変化しつつあり、計算し直しの段階にあります。それは、経済の枯渇です。皆さんが理解しておくべきなのは、サウジは以前は卑劣な金持ちでした。サウジはまさに、中東での物事を独裁的に支配できていたのですが、突然、彼らは声色を変えました。サウジ経済は現在、火の車です。石油価格は彼らの許容範囲を下回っています。石油生産を減少させる協定のため、大幅な損失を被り、もし石油価格がこれから上がったとしても、石油生産を増大させた他の国が高値を満喫するだけで、彼らはもう、自分たちが販売していない石油バレルを失っていくのです。すぐに彼らは、その合意を延長せず、生産を増量するでしょうが、また価格が下がると、彼らは多額の損失を被ります。彼らは今、ルーズ・ルーズ（負け・負け）の状況にあるのです。そのため、彼らは弱っています。また、改革が迫られているのは経済だけではありません。政府のプロジェクトは 25%が履行されておらず、現在は中止されています。サウジは、石油に次ぐものを何一つ用意して来なかったのです。例えば、ドバイ（UAE:アラブ首長国連邦）は違います。ドバイは世界で 3 番目に混雑している空港になりました。そこは旅行目的地となり、石油とは全く関係ありません。アラブ首長国連盟は賢明で、石油が主な収入源でなくなった場合の、自分達の経済を回すために、他の分野を発展させてきました。しかし、サウジはそれをして来なかったのです。サウジは、旅行客も石油生産が全てです。サウジは現在、流血しています。それも経済のみならず、継続的、日常的な攻撃を受けています。シーア派であるイエメンのフーシ派反政府勢力が、世界最大のスンニ派国家を攻撃しているのです。訂正、アラブ界最大ですね。マレーシア、インドネシアの方がサイズ的にはもっと大きいですからね。ただ、あちらはアラブではなく、アジアです。スンニ派イスラムの母、メッカ、メディナのあるサウジアラビアは、ほぼ毎日のように攻撃されています。イランの拡大、そして、全ての問題を引き起こしているイエメンのフーシ派への、イランによる支援を終わらせるためなら、サウジはイスラエルとの協力関係を結ぶ準備万端です。

ということで、これらの国々についてお話ししてきましたが、では今現在のヨーロッパの状況はどうでしょうか？

フランスでは明後日、大統領選挙です。主な候補者は 4 人。極右派のルペン、そして極左派は完全な社会

主義者（ジャンリュック・メランション）で、彼は BDS（反イスラエル運動の一つ）を支持しています。そして、他の二人の候補者（エマニュエル・マクロン、フランソワ・フィヨン）は中道派。初めは 4 人全員が 20%前後で、第 2 ラウンドでは誰が勝ち残るのかわかりません。でももし、極右と極左が残ったとすれば、ほぼ隔月で起こっているテロ攻撃に加えて、昨日、パリのシャンゼリゼ通りで起こったテロがもしかしたら、極右が極左を抑えることに貢献するかもしれません。とは言うものの、私は預言者ではないので、どうなるかはわかりません。ただ、一つ私に言えるのは、ヨーロッパは過激派イスラムにウンザリしているということです。ヨーロッパはイスラム移民の波によってもたらされるありとあらゆる犯罪、性犯罪、テロに疲弊しきっているのです。ですから我々は、ヨーロッパの有権者の非常に厳しく強い反応を目撃することになるでしょう。フランスがその先鋒になるのかどうかは、私にはわかりませんが、BREXIT（イギリスの EU 離脱）が成功した主な理由の一つは、ヨーロッパのとんでもない移民政策から、彼らが離れるためでした。テリーザ・メイがつい先日、選挙を公表しましたが、彼女は勝つでしょう。彼女は自分の国にとって何が最善かをはっきりと分かっていますから。ということで、以上が地域に関することでした。

《イスラエル、携挙について。きょうのまとめ》

さて、イスラエルについて。ブルームバーグがイスラエルを最も経済の安定した国第 3 位に位置づけました。皆さん、ちゃんとお聞きになりましたか？世界中で最も経済が安定している国の第 3 位がイスラエルです！人口 850 万人の国です。ISIS、ハマス、ヒズボラ、シリア、ロシア、その他、世界の悪夢のすべてが我々の周りを取り囲んでいます。それなのに、私達は繁栄しているのです。失業率は低く、株式市場は非常に繁栄し、我々の経済、社会基盤は素晴らしいのです。これが、我々を取り囲む敵が、非常に憤っている理由の一つです。それから、忘れないでください。エゼキエル 38 章が起り成就されるためには、イスラエルは成功しているだけでなく、繁栄していなければなりません。それはとても重要な事で、聖書には敵ロシアはイスラエル—パレスチナ問題を解決するために来るとは書いていません。ジハードが目的なのでもなければ、ユダヤ人・異邦人問題でもないのです。目的は略奪で、獲物をかすめ奪うためだと、聖書には書いてあります。我々から盗むためです。現在のイスラエルには盗む物がたくさんあるのです。ガス、石油が、イスラエルを燃料大国としているのです。

ということで、皆さんは理解していると思いますが、こんにちのイスラエルと世界は、これまでになかった程にエゼキエル 38 章戦争に近づいているのです。ここで疑問は、これによって多くのクリスチャンが完全に分断しています。携挙はいつ起こるのか？もし、私がそれを知っていれば、私は間違いなく大金持ちになっていたでしょうし、有名になっていたでしょう。私は大金持ちにはなりたくありませんし、絶対有名にはなりたくありません。しかし、私が一つ知っているのは、「その日、その時は、誰も知らない。」ということです。主の日は、神が最後のラッパを鳴らされた時に、パンっとやって来るのです。それは、主が約束されたことです。

32 …その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。…
(マルコ 13:32)

イエスも知らなかったのです。彼は、聖書の中でそう伝えています。私達はそれを理解するべきです。そ

ここで疑問は、「それなら、それは患難前に起こるのか？それとも、患難の最中か？患難の後か？」私の立ち位置は、常に同じで、第一テサロニケ 1:10 にこうあります。

10 **また、神が死者の中からよみがえらせなされた御子、すなわち、やがて来る御怒りから私たちを救い出してくださいませ…**

(第一テサロニケ 1:10)

さらに、黙示録 3:10 にはこうあります。

10 **なんじはわが忍耐のこぼれを守ったから、わたしもなんじを試みの時から守ろう。**

(「の中で」ではなく。) **それは地に住むものを試みるために、全世界にのぞもうとしている。**

(黙示録 3:10 前田訳 1978)

携挙が起こり、我々がここを去ると、世界は試みの時に突入するのだと、私は信じています。反キリストが、彼のやり方をもちろす試練。それからもちろん、144,000 人の伝道師たち、イスラエル人がおもにイスラエル人に伝道するのです。なぜなら、神はその働きを再びイスラエル人に移行されるからです。そして、それは私たちの試練ではないのです。全員が獣のしるしを受けるのではないでしょう。全員が反キリストに属するのではないでしょう。救われる人もいます。ただ、それらの人は試練の中で立っていないのです。これらの人は耐え抜かず、残念ながら生き残れません。私が心底信じているのは、教会としての私達には、ユダヤ人も異邦人もありません。現在、私達は一つ、キリストの体です。私達は試みの時の**前**、

神の御怒りの**前**に取り去られます。ということは、我々は見なくて良いのです。何のために、我々が反キリストに会うのですか？「こんにちは」そして「さようなら」？どうして、私達が不法の人に会う必要があるのですか？第 2 テサロニケ 2 章に書かれている内容が明確に示していると思います。

7 **…ただそれは、今のところ抑えている者(我々クリスチャン)が、取り除かれるまでのことです。**

8 **その時が来ると、不法の者が現れます…**

(第 2 テサロニケ 2:7~8)

ちなみに、かなりの確率で、彼はもう存在していると思います。事実、トルコのエルドアンやロシアのプーチンを見ていると、エゼキエル 38 章が成就する時にも、この二人の指導者たちがそこにいる可能性もかなり高いと、私は思っています。つまり、反キリストはヨーロッパから興って、中東に平和をもたらすということは、すでに生存している人物である、ということです。ロシアとその同盟国が、イスラエルの神、主によって辱められ、打ち負かされた後、中東の破滅を対処するためにやって来るのです。皆さんには、どうか希望の中に留まってほしいと思います。不安になったりしないでください。私達は城壁の見張り番であることを忘れてはなりません。私達には果たすべき役割があるのです。私達のすべきことは、

- ① 自分が主の前に正しくあるかどうかを確認する。もし、自分が主の前に正しくないなら、当然、主には戻って来てほしくないでしょう。私達は「主イエスよ、来てください。」(黙示録 22:20) と言える心がなくてはなりません。御霊も花嫁も、主に「来てください。」と伝えなければなりません(黙示録 22:17)。
- ② 私達は毎日、家族の上に宣言しなければなりません。あなたが最後の息をつく瞬間まで、毎日です。

15 私と私の家とは、主に仕える。

(ヨシュア記 24:15)

しかしまた同時に、私達には役割があることを覚えておかなければなりません。見張り番としての役割、人々に警告を与え、人々を備えさせ、自分自身を備えるのです。そしてまた、イエス・キリストの福音を恥と思わない(ローマ 1:16)。出て行って、迫り来ることを人々に伝えるのを、恥ずかしがらないように。

どうか、週の総まとめ(ウィークリーランドアップ=ニュースレター)にご登録ください。その週に起こった事、私がお伝えしたことなどを、毎週 Email でお送りしています。Behold Israel.org にて、お名前と E メールアドレスをご登録ください。もう一つはサプライズです。私は人に何かをあげるのが大好きです。つい先日、イスラエルアンヴェールド Vol.2 の DVD を発売開始いたしました。私が 4 か所の異なる現地から聖書を教えているもので、4 枚の DVD がセットになっています。もうすでに、多くの方にご購入いただいておりますが、まだの方は、これから 30 日以内にインターネット上の我々のウェブサイトか、アプリより DVD をご購入いただくと、その中の 1 名様に抽選で 2018 年のイスラエルツアーに無料でご招待します。私は人をイスラエルに呼んで、ここを見てもらうのが大好きなのです。ですから、ぜひ DVD をご購入していただいて、現地でのバイブルスタディーをご覧ください。でも、皆さんの中のお一人は、2018 年にイスラエルに来られるのです！どうぞ、インターネットからこの DVD をご購入ください。今日 4 月 21 日から 30 日後に行う抽選に、あなたのお名前を喜んで加えさせていただきます。すでに DVD をご購入されている方も、お名前が抽選に加えられています。まだ、ご購入されていらっしゃらないなら、どうかこの機会をお見逃しなく。先週、スタッフから聞いたのですが、海外からの DVD ご購入の際に、送料や、中には税関の問題も絡んで費用がかさむとのことで、現在、実物の DVD ではなく、購入後ダウンロードできるようにしたいと思っています。たとえば、DVD をご購入いただいて、カリフォルニアから送るとなると、当然送料や手数料、その他が発生しますから、それらを簡素化したいと思っています。

ということで、今回のアップデートをヨハネ 14 章で締めくくりたいと思います。世界中のクリスチャンたちが、非常に恐れているからです。もちろん、それも分かりますよ。悪いニュースに取り囲まれていますから。ですから、次の聖句で皆さんを励ましたいと思います。

- 1 *あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたし(イエス)を信じなさい。*
- 2 *わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。*
- 3 *わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。(ヨハネ 14:1~3)*

イエスは、私達のために場所を備えたら、私達を迎えるために戻って来られると、約束してくれたのです。この世に連れて行くのではありません。私達はこの世にいますから。イエスが今、おられる所に、です！そして、私達はそのままに住むのです。それからイエスが戻って来られ、主の足が再臨で地上に降り立つ時、私達もイエスと共に戻って来るのです。そして、千年の間、私達は主とともに暮らします。でも、まずは「わたしは来て、あなたがたを迎える」と主がおっしゃったのです。覚えていてください。これは信者がこの世にあって持っている唯一の希望です。我々がまだ主と離れている間、もちろん主は私たちの心におられますよ。しかし、この2,000年の間、肉体的にイエスは、私達と共におられません。主は私たちに聖霊をくださいました。慰め手、私達の導き手、私達に御言葉を解き明かしてくださる方、私達の人生において、罪を警告してくださる方です。しかし同時に、イエスは私たちに約束してくださったのです。時が来れば、イエスが来て、私達を主の御元に迎え入れてくださると。これは携挙についての美しい描写であって、これが再臨の前に携挙が起こる、という証拠です。なぜなら、我々は主とともに戻ってくるのです。それなら、私達がまず、主の元に行く意味がありません。ですから皆さん、元気を出してください。心を騒がせないでください。私達の周りで起こっている全ての悪いことは、神が御言葉を成就させるために働いておられ、イエスが間もなく来られることを告げているのです。主がもうすぐ戻って来られます。と言っても、明日明後日にも来られるというように先走らないでください。我々は粘り強く、また忍耐してこの希望を握りしめるのです。私たちの世代は、イエスの時代以来、実にたくさんの預言が成就するのを目撃しているのです。それなのに、我々の世代がこの祝福された希望を見失うなどという事があってはなりません。残念ながら、この終わりの時に、人々が自ら進んでもはや携挙を信じない、それが起こるとはもう、信じていないのです。「これだ！」「これが神の御国だ！」と言っているのです。「今が神の御国だ」…。

主がもうすぐ私たちをこの世から取り去ってくださる！それは、この世が神の御国ではないからです。イエスが私達と一緒にいられた時は、イエスが御国でした。しかし、彼は今、私達をこの世から取り去るために場所を備えておられるのです。もし、ここが神の御国なら、どうして彼は私たちをここから取り去る必要があるのですか？イエスは私たちをここから取り去る必要があるのです。それは、間もなく試練が襲おうとしているためであり、まもなく訪れる裁きの日のため、御怒りの日のためです。しかし我々は、神の御怒りに会うようには定められていないのです。ですから、皆さん、どうか神の御言葉にしっかりとしがみついてください。ガリラヤの私たちが、皆さんを愛していることを忘れないでください。こちらはすでに安息日です。私は2週間の休暇を、家族と過ごしながらくっくりにしています。ガリラヤより、皆さんを祝福したいと思います。I love you all!最後に、皆さんの上に、世界中の皆さんの上に、アロンの祝福を送りたいと思います。皆さん、目を閉じて、手を前に差し出し、祝福を受け取ってください。神が、イスラエルの子どもたちを祝福するやうにとアロンに命じましたが、今は皆さんも、我々のオリーブの木に接ぎ木され、肥えた土地を相続する者となったのです（ローマ11:24参照）。ですから、祝福は皆さんのものでもあるのです。どうか手を広げて、祝福をお受け取りください。

(ヘブル語で)

24 **主があなたを祝福し、あなたを守られますように。**

25 **主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。**

26 **主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。** (民数記6:24~26)

これは世が理解できない平安です。全ての混乱の中にあっても、私達には理解を超える平安があり、それは、私達の中におられる、平和の君から来るものなのです。だから、心配しないで、恐れなくて。主が間もなく戻って来て、主とともに居るために、私達を取り去ってください。

Thank you!

Shabat shalom from Galilee!

God bless you!

Bye-bye!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジューAmir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO